

[参考・2月（確報）]
ガス自由化に関する意識調査結果

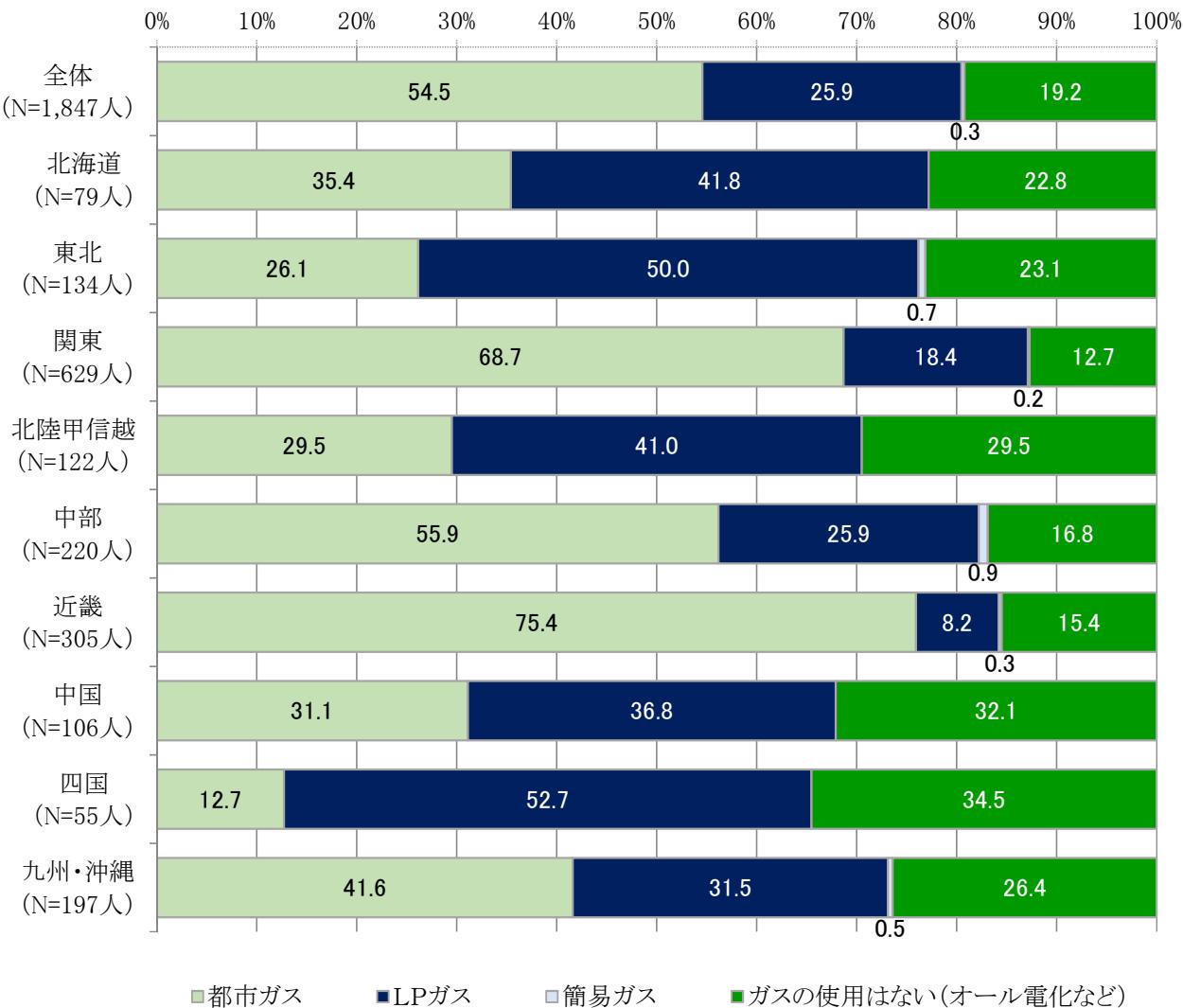
平成31年4月1日（月）



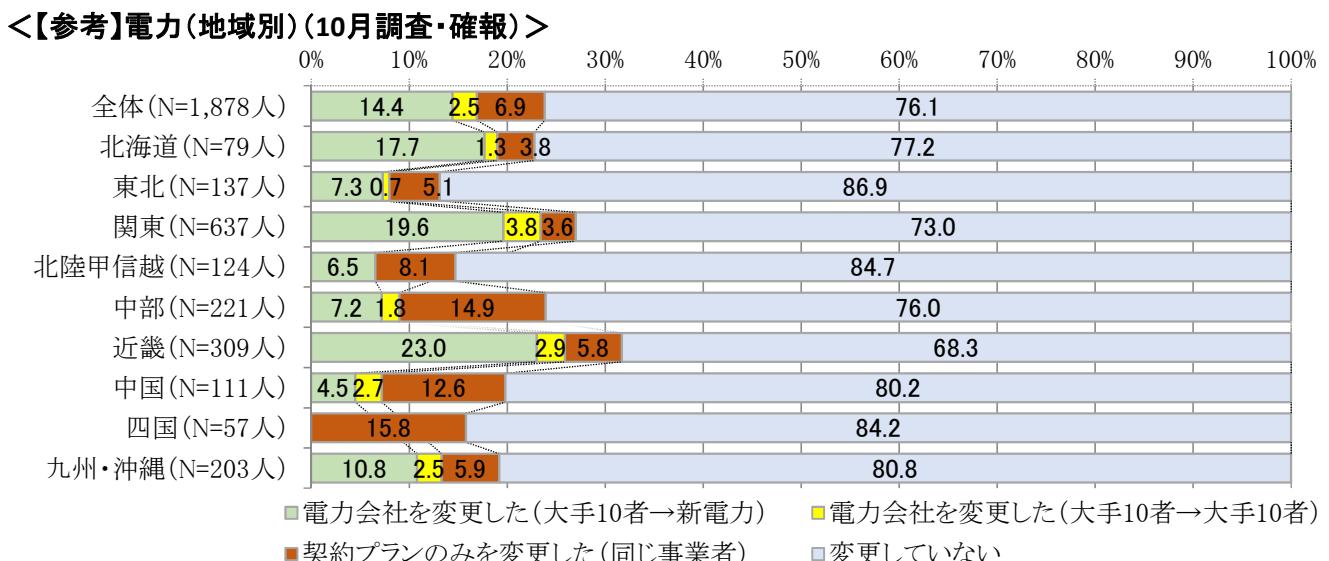
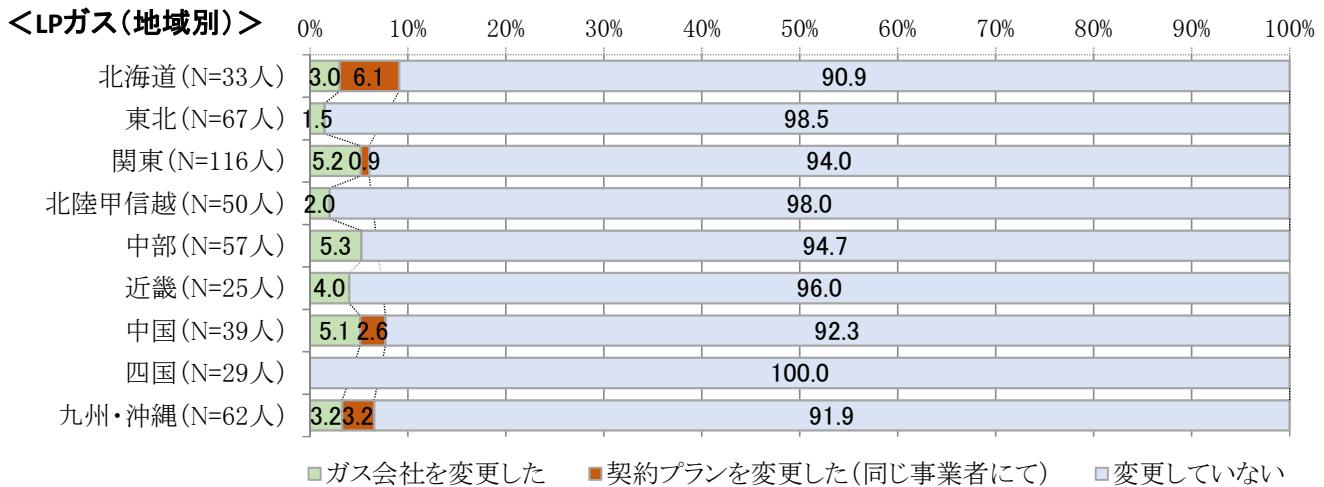
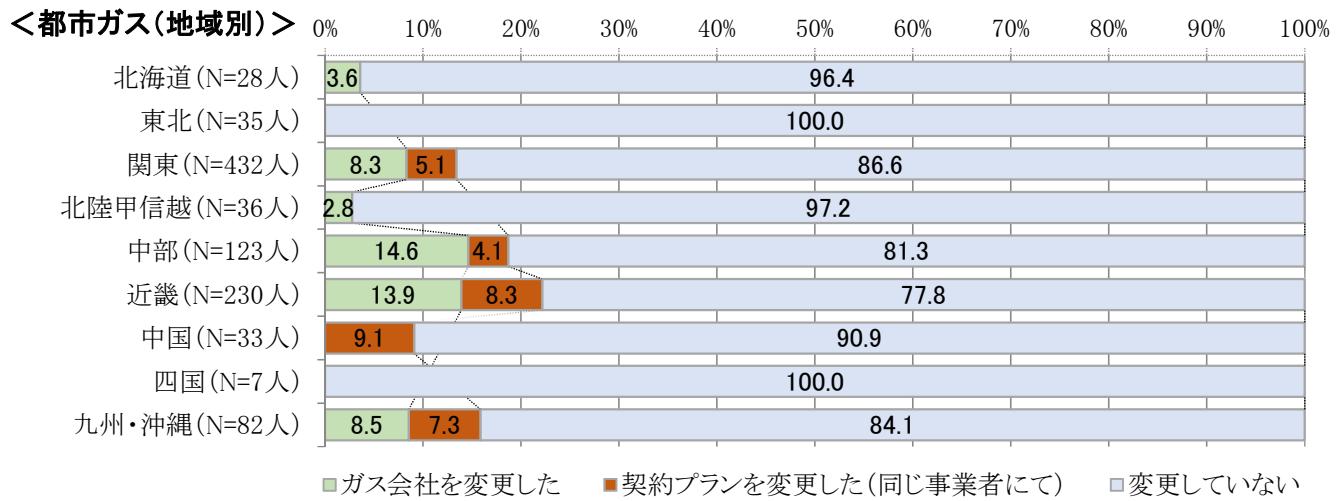
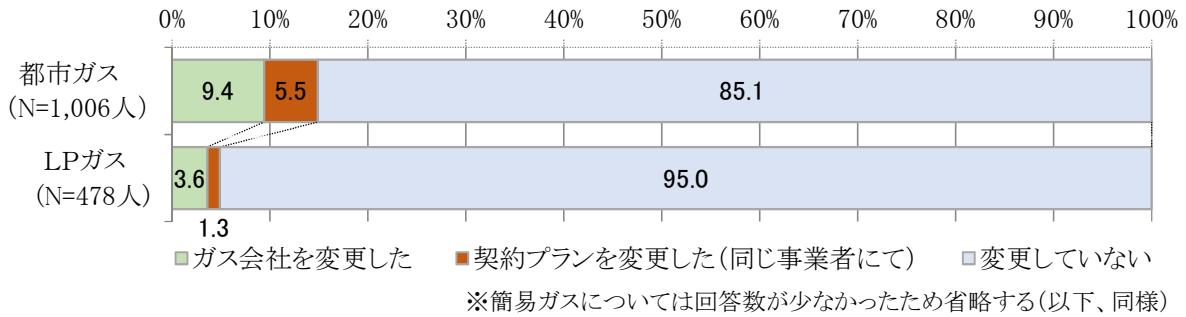
注)ガス自由化に関する意識調査は、2月調査のみの設問であったため、2月調査から当該意識調査部分を抜粋し、確報として数値を更新した上で、参考として公表するものである。

1. 意識調査結果

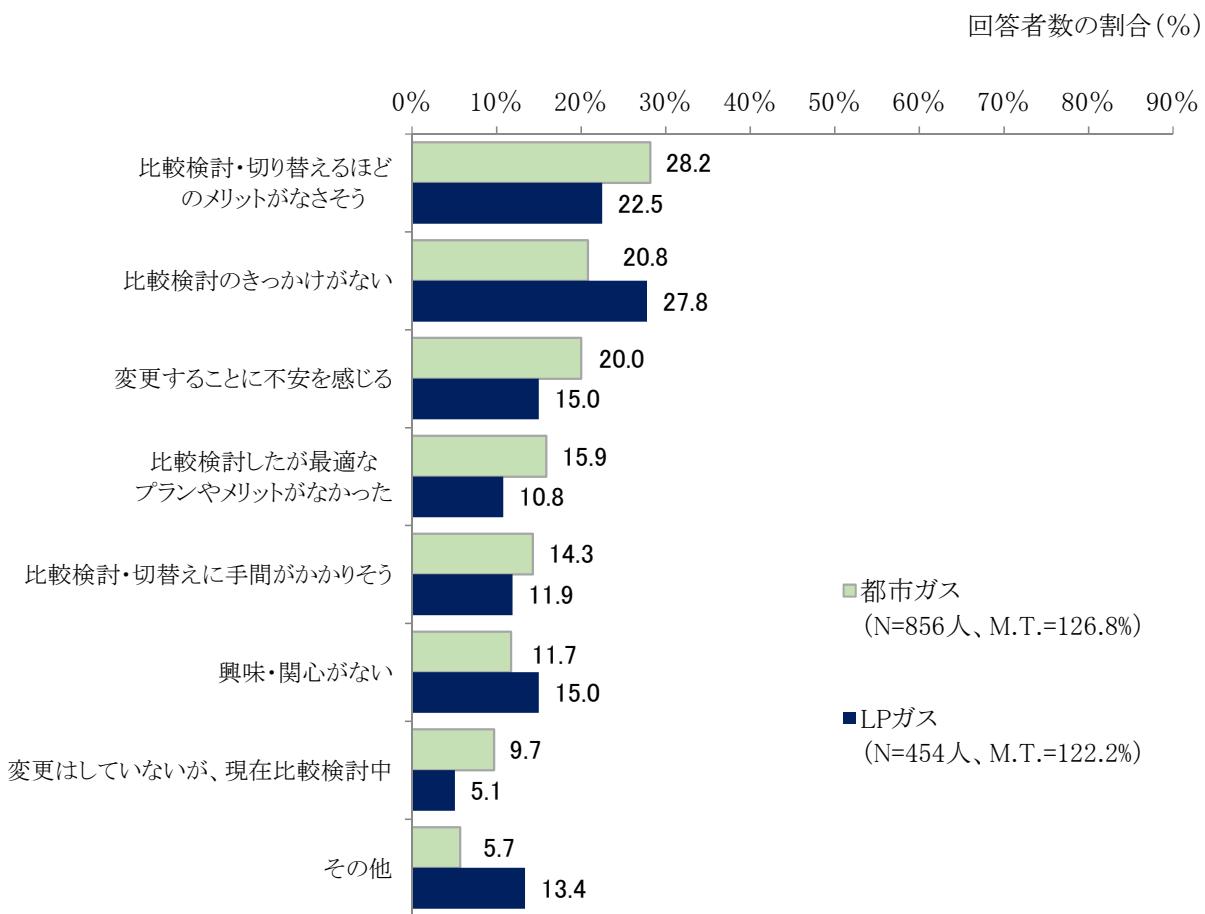
問1 ご家庭で使用しているガスの種類について、当てはまるものを1つ選んでください。



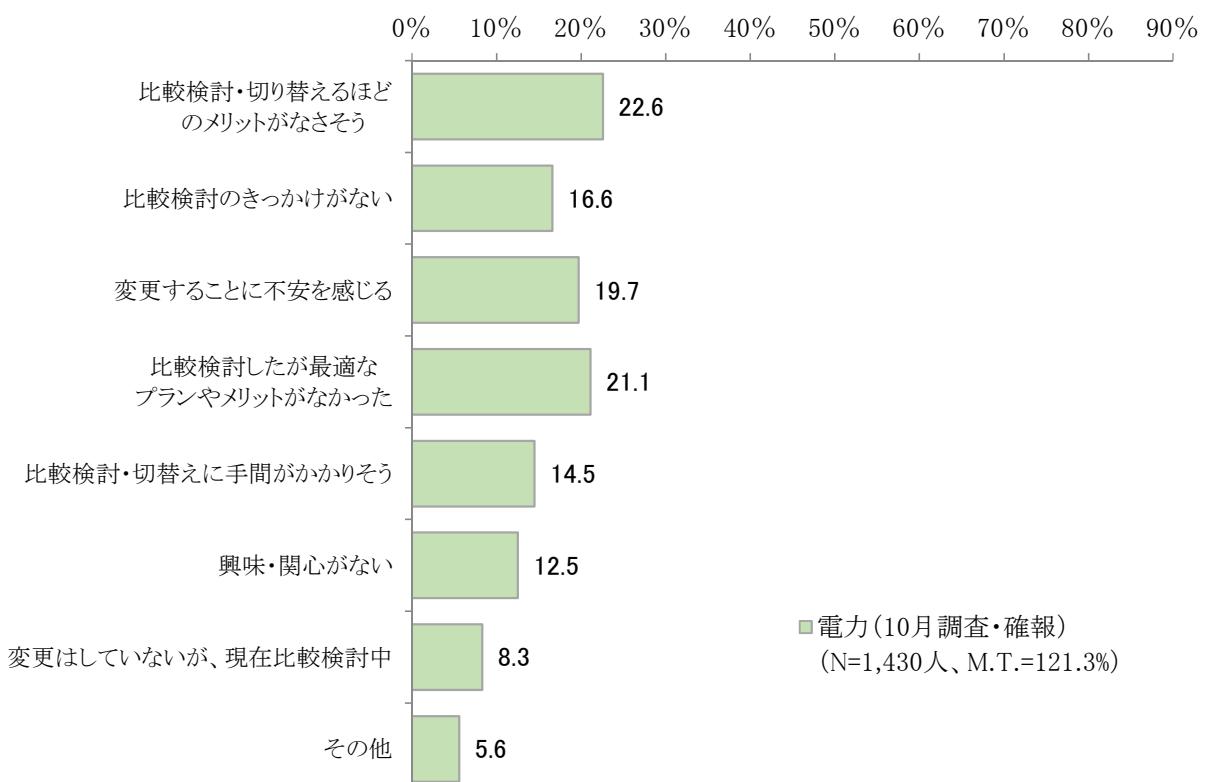
問2 (問1で「ガスの使用はない(オール電化など)」以外を選択した方がお答えください。) 2017年4月のガス小売全面自由化以降に、ご家庭のガスの契約を変更しましたか。次のうち当てはまるものを1つ選んでください。



問3（問2で「変更していない」を選択した方がお答えください。）問2で答えた理由として当てはまるものを全て選んでください。



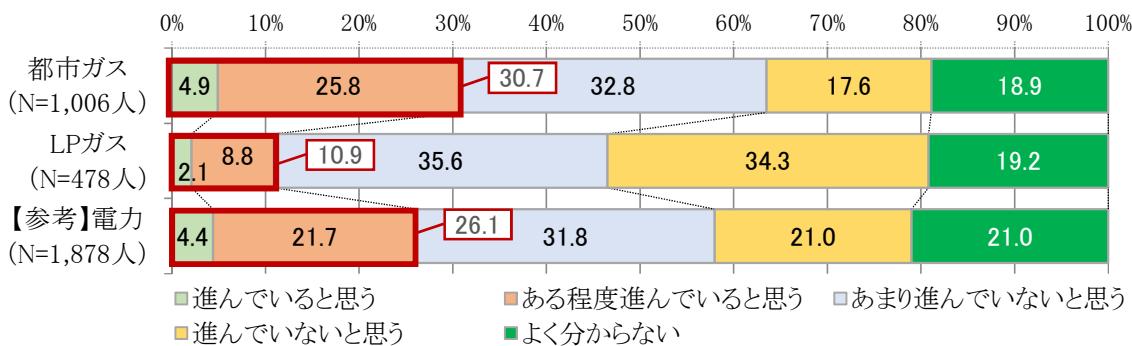
<【参考】電力(10月調査・確報)>



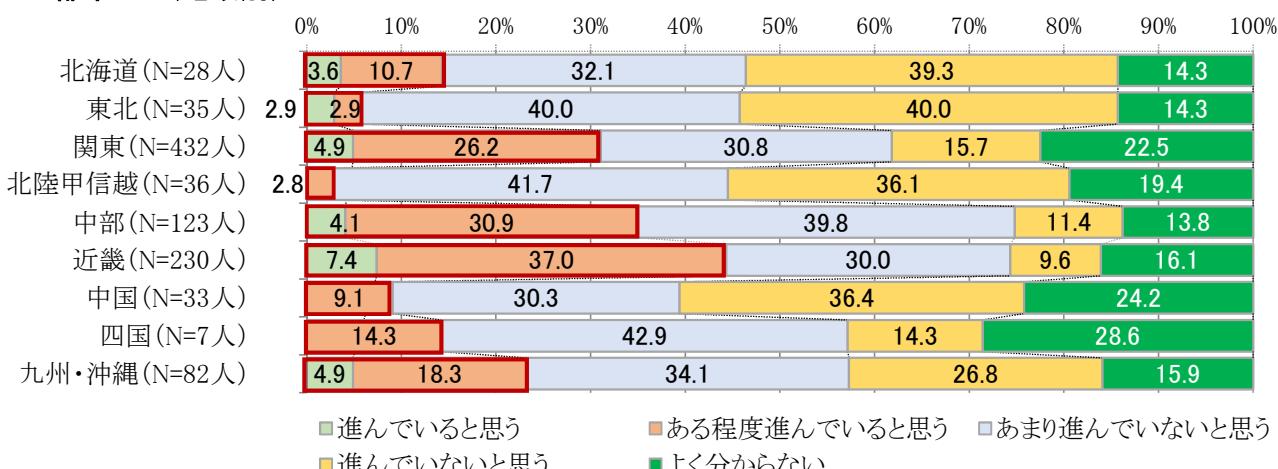
※M.T.(Multiple Totalの略)は、回答数の合計を回答者数(N)で割った比率。

問4 2017年4月より始まったガスの小売全面自由化についてお伺いします。

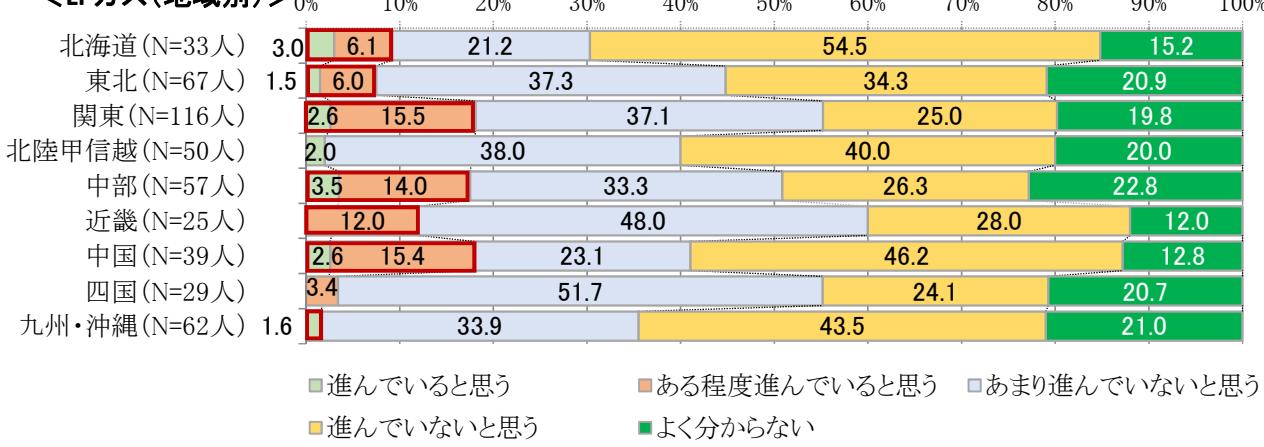
あなたのお住まいの地域では、新しい事業者の参入や様々な料金メニュー・サービスの登場により、競争が進んでいると感じますか。次のうち、当てはまるものを1つ選んでください。



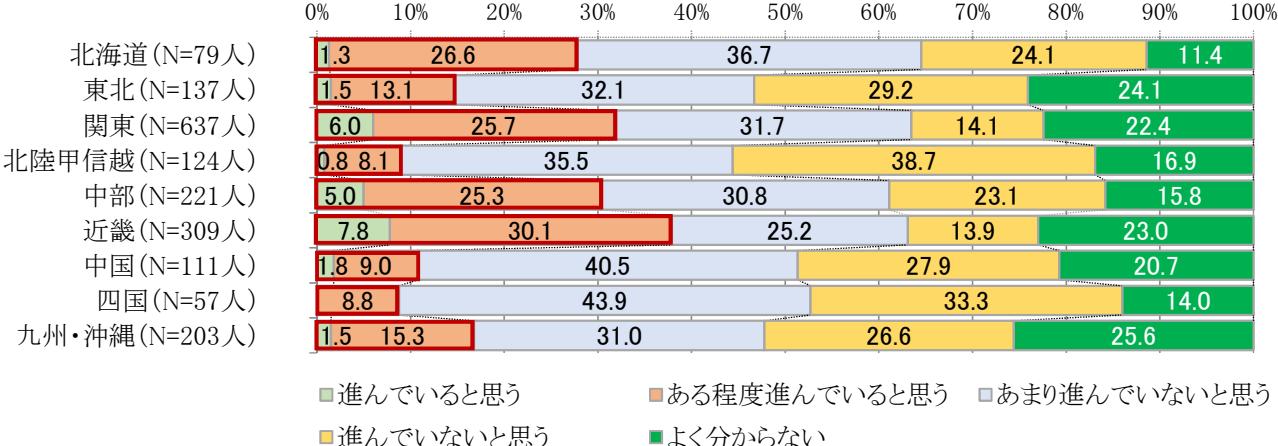
<都市ガス(地域別)>



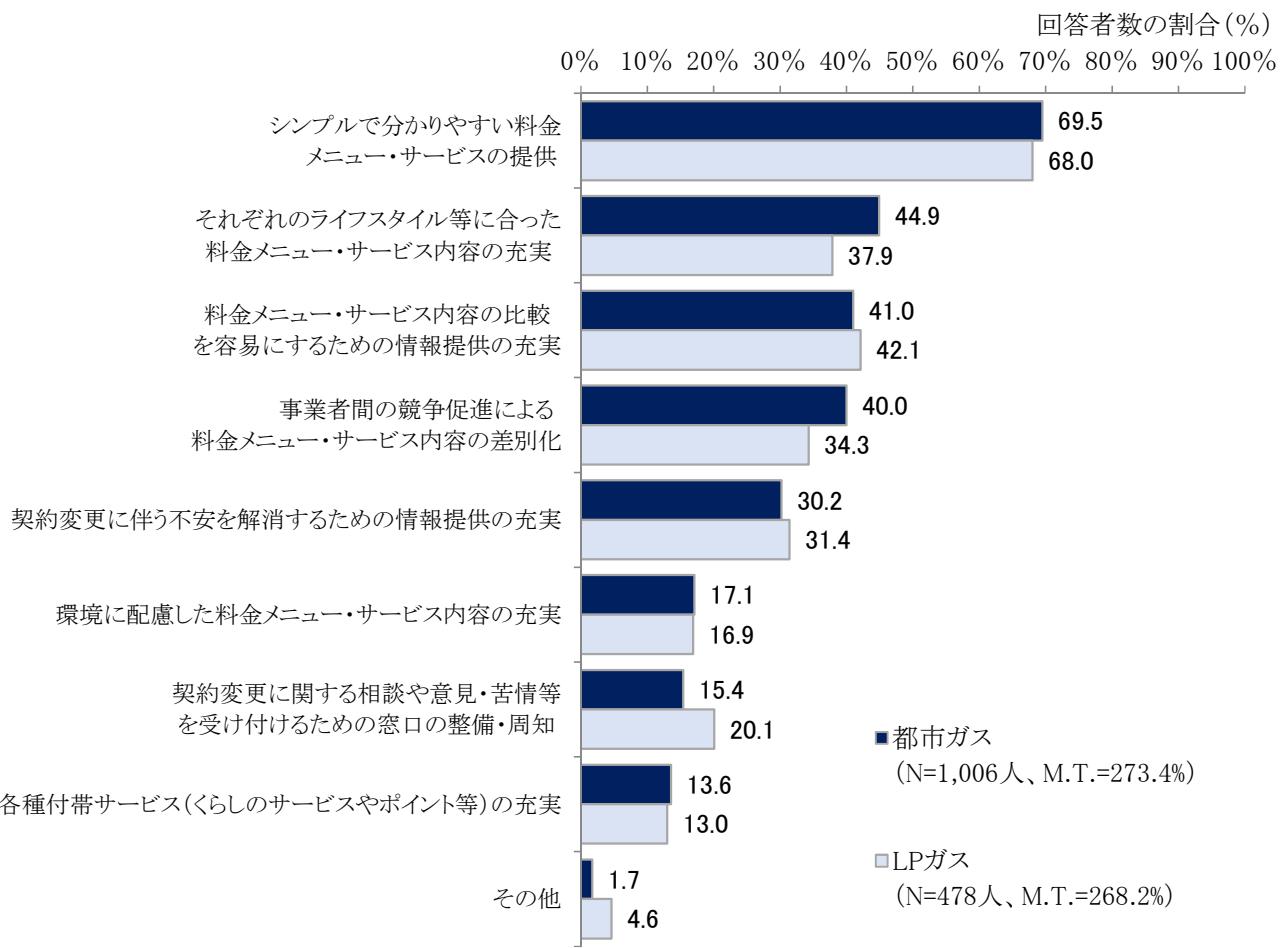
<LPガス(地域別)>



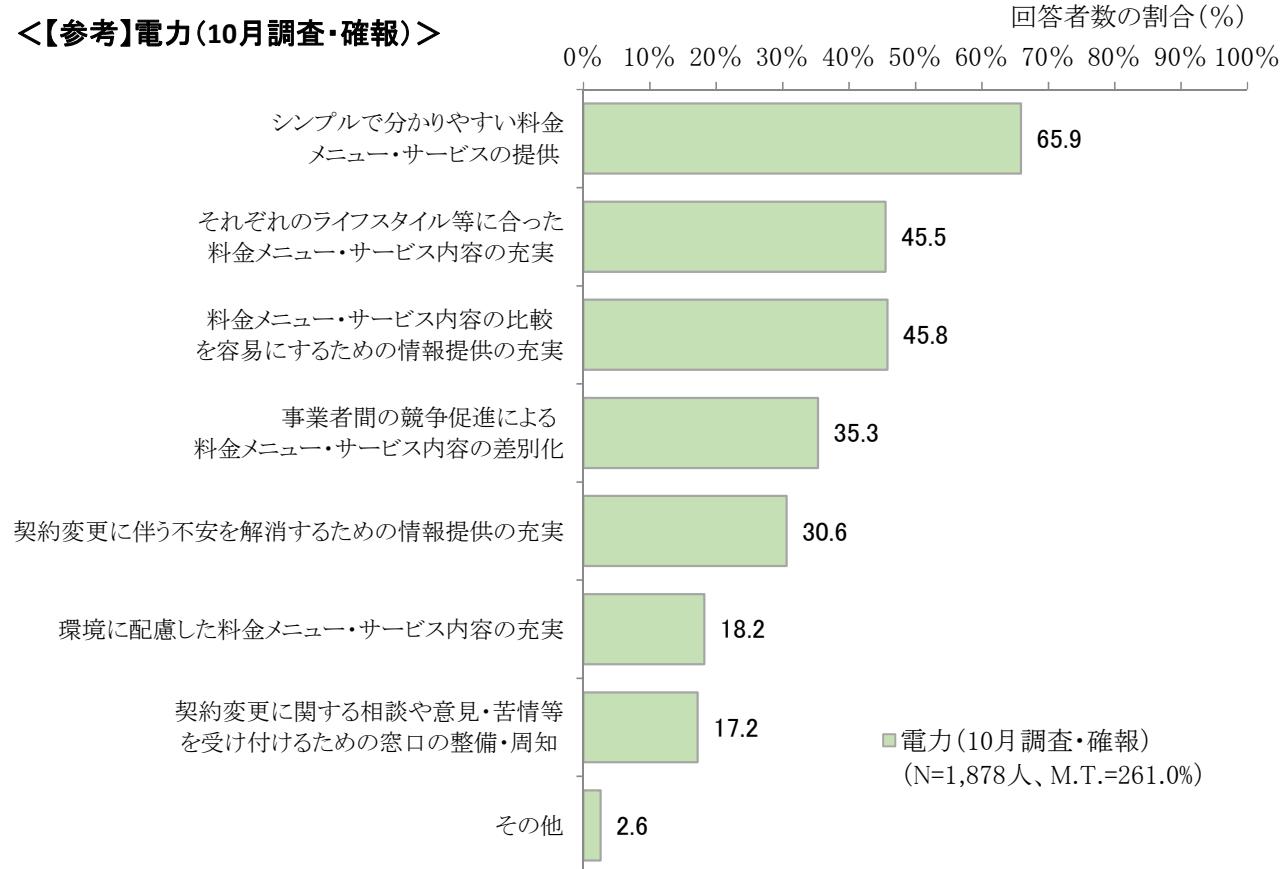
<【参考】電力(地域別)(10月調査・確報)>



問5 今後、ガスの契約を変更しやすくなるためにはどうしたらいいと思いますか。あなたが特に重要なものを全て選んでください。



<【参考】電力(10月調査・確報)>



※M.T.(Multiple Totalの略)は、回答数の合計を回答者数(N)で割った比率。

2. 2月調査(確報)の回答者の属性

2月調査の回答者数:1,847人

①年齢

20～29歳	19人 (1.0%)
30～39歳	227人 (12.3%)
40～49歳	618人 (33.5%)
50～59歳	598人 (32.4%)
60～69歳	285人 (15.4%)
70歳以上	100人 (5.4%)

②職業

正社員	526人 (28.5%)
正社員以外の被雇用者	535人 (29.0%)
会社、団体などの役員	10人 (0.5%)
自営業	89人 (4.8%)
専業の主婦・主夫	518人 (28.0%)
学生	4人 (0.2%)
無職	139人 (7.5%)
その他	26人 (1.4%)

③居住地方

北海道	79人 (4.3%)
東北地方	134人 (7.3%)
関東地方	629人 (34.1%)
北陸甲信越地方	122人 (6.6%)
中部地方	220人 (11.9%)
近畿地方	305人 (16.5%)
中国地方	106人 (5.7%)
四国地方	55人 (3.0%)
九州・沖縄地方	197人 (10.7%)

④居住形態

単身	144人 (7.8%)
二人暮らし	570人 (30.9%)
三人暮らし	532人 (28.8%)
四人暮らし	443人 (24.0%)
五人以上	158人 (8.6%)

⑤世帯年収

300万円未満	266人 (14.4%)
300～500万円	482人 (26.1%)
500～700万円	495人 (26.8%)
700～1,000万円	397人 (21.5%)
1,000万円以上	205人 (11.1%)